

本当は難しい 英語で文章を書く力

日本人の多くが「日本人は英語の読み書きはできるのだけれど会話が苦手」と思っている人が多いようですが、実は書く事が一番弱いように思います。「話す」事は最初はできなくても、慣れればなんとかなります。文法が少々間違えても文脈で理解してもらえます。しかし、「書く」ことはトレーニングが必要だし、文法力も、「読む」力も反映されるので、学校でのペーパーテストや TOEIC のための勉強では、アカデミックレベル、またはビジネスレベルで使える「書く」「読む」力にはつきません。また、「書く」事を指導できる教員は非常に少ないです。私が TOEFL テストの準備をしていた際、一番苦労したのが英語でのエッセイです(日本語で文章を書くのも苦手なものでしょうがありませんが...)。英語のエッセイとは主に、「小論文、評論文、随筆」の事で、初めはどのように書いてよいか分からず、とても苦労しました。なぜかという、日本の学校で養われた「書く技術」は英語のそれとはまったく違うからです。日本と欧米では思考スタイルや文化背景が根本的に違っており、そのへんが理解できていないと、いくら文法的には完璧でもちんぷんかんぷんな文しか書けません。例えば私が学生だった頃、「天声人語」は良い文章の見本とさ、それさえ読んでおけば、国語の点数はなんとかなると思われていましたが(笑)、あの「天声人語」を英語に直訳しても、意味不明な文章にしかなりません。日本という文化背景を共有しているという事が前提の文章なので、それ以外の文化や思考スタイルを背負った人々には何がしたいのか理解できないのです。英語を「国際語」と位置付けるならば、多様なバックグラウンドの人々にも理解できるように論理的思考を身に付ける事はとても大事な作業になってきます。

英語エッセイや文章は独自の書き方があり、これはトレーニングする事によって身に付きます。日本の中学・高校の試験で出題されるような「英訳」(習った文法や単語をちゃんと使いこなせばOK)に慣れてしまうと、英語らしい文が書けなくなってしまうので要注意です。アメリカの子供達は徹底的に「書く技術」を学び、教師は共感的な感想より、技術的指導や添削を行います。アメリカの国語の時間は日本のように読解することが重要ではなく、文の「書き方(テクニック)」を指導するのが中心で、エッセイ、ビジネスレター、親密な手紙、レポート、インタビュー、広告、自伝、本の紹介から戯曲に至るまで、約 12 種類の文章様式を学習し、実際に書いてみることに大半の時間を費やします。まず文章の「型」を徹底的に学ぶことによって、思考表現スタイルを身に付けていくのです。エッセイにも決まった型があります。この型に自分の意見やデータ等を落とし入れていくから練習していくと、とりえず大体のエッセイは書けるようになります。ちなみに TOEFL テストに出題されるエッセイは、この形式に沿って書いているか、いないかが大きな採点基準になり、内容自体はそれほど重要ではないようです。もちろん、誤字脱字、正確な文法の使用なども大事ですが、基本的に論理的な文が書けるかどうかでテストされるのです。

そして英語的な思考スタイルを身に付ける事によって、英語でのプレゼンやディスカッションをする力も養う事ができます。日本語的な思考から英語的な思考への切り替えは練習を重ねる事に容易になってきます。よく、日本語で喋っている時と英語で喋っている時では性格が変わるように思えるのは、思考表現スタイルの切り替えが行われている為なのだと思います。

英検 2 級くらいの実力と英語のインプット量(読む)が十分にあれば、アウトプット(書く)の練習をしていきましょう。アークアカデミーでもライティングのクラスも開講したいと思案中ですので、詳細が決まり次第お伝えさせていただきます。

♥ 最新情報・お知らせ ♥

●《重要》翌月からの各種変更(休会・退会など)の手続きの届出締切日は 20 日までです。お間違いないようお願い致します。一部欠席された場合、あるいは 20 日までに休会・退会のご連絡がなかった場合、特別な理由を除き後からの払い戻しはできませんのでご了承ください。

●新年度で使用するテキストブックを、上のお子さんからのお下がりを利用するといった理由で購入不要な方は、2 月中に紙面にてお知らせ下さい。それ以降はテキストブック発注スケジュールの関係上、受付をお断りさせていただきます。ワークブックは必ず購入していただきます。

●副教科の「スーパーフォニックス」と「英語の多読クラブ」の受講料は、通常クラスを受講されている場合は 3000 円、単独で受講される場合は 5000 円となります。

●木曜日の育児サークルを受講の方は、3 月 15 日(木)の振替レッスンの予約をお願い致します。

●「英語で多読クラブ」の参観日は 2 月 7 日(水)です。暗誦大会をさせていただく予定ですので、保護者の方は、ぜひお子さんの頑張っている姿を応援しに来てください。受講者以外の方でも、英語で多読クラブに興味がある方は参観が可能ですので、真由美先生、もしくはペイトン初穂までお申し込み下さい。

●フェイスブックをコミュニケーションツールとして活用しています。ぜひ「いいね！」で登録して下さい！いろんな情報を発信していきたいと思っています。

<https://www.facebook.com/ark.academy.sanda>

ARK ACADEMY

アークアカデミー英会話教室

三田市あかしあ台 4-8-1

Tel / Fax : 079-563-3132

Email: info.ark.academy@gmail.com

ホームページ「アークアカデミー英会話教室」で検索

フェイスブック: www.facebook.com/ark.academy.sanda



アークアカデミー通信

News Letter Feb 2018

Vol.88



★ Contents ★

- はじめに ■最新情報・お知らせ
- 今月の誕生日 ■英語で文章を書く力
- オープンクラスのお知らせ ■新年度クラス編成
- 「英語好き」を育てる環境づくり

はじめに

2020 年の教育改革に向けて、アクティブラーニングの重要性が盛んに謳われていますが、アメリカの教育学者、ジョン デューイ (1859 年~1952 年) は、その教育論ですでに問題解決学習を提唱しており、人間の自発的な成長を促すための環境を整えるのが教育(学校)の役割だとし、自立学習を基本とする教育が民主主義を支える市民にとって大事だといっています。

英語学習においても、自発性、関心、能動的な姿勢から、自ら体験的に学んでいく努力はとても大切だと思っています。アークアカデミーでは副教科として、フォニックスクラスと多読クラスを開講しておりますが、これは自ら英語を学んでいける基礎的な力を身に付けてもらうというのが大きな目標です。文字が読める、というのは自立的、自律的な学習への大きなステップ。そして、もっと勉強したいという自発性を促すものだと、子供達の成長を見ながら実感しています。テキストブックに添って系統的に英語を教えるのも重要ですが、それ以上に子供達が自発的に英語を勉強したいと思ってもらえる環境づくりがとても大切だと思います。

2020 年より、小学校 5 年生から英語が教科になりますが、授業数を増やす、外国語指導手を増やすといった小手先の改革ではなく、子供達が自立的・自発的に家庭でも毎日英語学習ができるシステムを導入してもらいたいと思っています。

オープンクラス(参観日)のご案内

2月の第4週目(2月20日～)と第5週目(2月27日～)にオープンクラス(参観日)を開催する予定です。自由参加ですが、ご都合のつく方はぜひご参加ください。通常とは違うクラスの雰囲気にご供達も緊張し、いつもとは違う行動をとるかとは思いますが、温かく見守ってあげて



◆2月20日(火)～2月24日(土)
スーパートドラ

◆2月27日(火)～3月3日(土)
スーパーキッズ・キッズクラス・スーパーフォニックス

- 下のお子さんや上のお子さんを連れてクラス参観をされる場合、クラスの進行の妨げにならないようお願いいたします。
- 当日は込み合いますので、あかしあ台教室にはお車以外でご来校ください。
- ビデオや写真撮影はクラスの妨げになりますのでご遠慮下さい。
- 学校近辺での路上駐車は近隣の方の迷惑となるので、ご遠慮下さい。(エルクプラザ・イオンモールなど2時間は駐車無料です。)
- 少数制クラスの詳細は後日お渡しします。クラスの前半、もしくは後半を参観していただけます。

新年度クラス編成の流れ

- ① 新年度希望クラスアンケート用紙
- ② アンケート回収(12月中)
- ③ 新年度時間割作成・配布
- ④ 在校生の来年度クラス予約受付(1月～2月頃)
- ⑤ 新入会者希望者の受付
- ⑥ クラス編成・新年度時間割の完成(2月～3月)



在校生の方で新年度クラス予約申込書をまだ提出されていない方は、至急ご提出をお願い致します。すでに満席のクラスもあり、保護者の方とご相談しながらクラス編成をさせていただきます。兄弟関係、クラス構成(男女比、レベル、クラスダイナミック etc.)、会員歴などを考慮させていただきますが、できるだけお子さんの性格や適性、レベルにあったクラスをご提案できるよう努めさせていただきます。2月中頃より、新規入会募集者の受付をさせていただく予定ですので、お知り合いの方で英会話学校を探されている方がいらっしゃいましたら、ぜひお誘い下さい!

ARK ACADEMY'S Mission Statement

～アークアカデミーミッション～



To Love and Serve Our Community
By Sharing Our Lives and Education



FEBRUARY



Happy Birthday

2月1日
2月4日
2月5日
2月5日
2月5日
2月6日
2月7日
2月9日
2月10日
2月13日
2月14日
2月15日
2月15日
2月19日
2月20日
2月25日
2月25日
2月27日
2月27日
2月28日

おめでとうございます!

3歳～6歳児対象

「英語好き」を育てる環境作り

アークアカデミーでは未就学児の受講者も多いのですが、この英語学習初期に大切なのは、お子さんが英語に親しみ、自然に英語を楽しめる環境を準備することかなと思います。特に、3歳～6歳頃の子供にとっては「遊び」こそが最大の学びの場。英語って楽しい!という経験を持ってもらう事は、その後の英語学習に大きな影響を与えるように思います。英語学習は反復練習がなにより大事。家庭での学習習慣が英語習得のカギを握っているのですが、親御さんの中にはどのように家庭での英語学習をサポートしてよいか分からない方も多いのではないのでしょうか?

まず、ご家庭でお子さんの英語サポートをしていただく際に大切な事は3つあります。

- ① 勉強といわない(思わせない)
- ② 日本語に言い換えない
- ③ 「音と映像」をメインにする

英語が苦手だった親御さんにとって、「英語を楽しむ」という感覚が掴みにくいかもしれませんが、「机に座って鉛筆をもち、書いたり読んだり」というイメージは一切捨てて下さい!英語嫌いの連鎖を断ち切るには、ご自分が経験した「英語学習」の概念を一掃していただく必要があります(笑)!カウチに寝転がってタブレットを使いながらゲーム感覚で英語を楽しむでも十分。子供が楽しく学べるようによく研究されたアプリやサイトもたくさんありますので、これらを使わないなんてもったいない!この時期は「好き」を起点に英語学習を広げていくことが大切なので、機関車トーマス、恐竜、おさるのジョージなども、お子さんが好きな物をどんどん利用して下さい。子供の「何かへのめり込む力」は無限のパワーがあり、3歳の子供でも誰に強制されることなく自発的に英語を「学習」しています。今回は子供達がのめり込む教材を紹介します!

●フォニックス学習 DVD

Leap Frog 社の「Letter Factory」「Talking Words Factory」
うちの長女は2歳の時にこのDVDにのめり込み、フォニックスを1人で学習しました。

●Web: SUPER WHY! (PBS KIDS) <http://pbskids.org/superwhy/>
「ジャックの豆の木」など、お馴染みの民話の中で起こっている問題を、4人組がフォニックスを使って解決していくお話です。「おさるのジョージ」や「機関車トーマス」の無料ゲームも充実しています。

●Web: Dinosaur Train (PBS KIDS) <http://pbskids.org/dinosaurtrain/>
恐竜好きの子供は夢中になりますよ～

●Web: Magic School Bus (Scholastic)
<https://www.scholastic.com/kids/books/the-magic-school-bus/>
太陽系から人体のなかまで、科学を楽しく英語で学びます。

●App: Fun English (Study cat)
構造英語言語コースと魅力的で面白いゲームを組み合わせたものです。まずはおためし版(無料)をダウンロードして試してみましょう。カラーとアニマルにまつわる英語がゲームで楽しく学べます。気に入った方は、999円で売っている方を改めて購入してみてもいいかもしれません。